

令和4年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	農政部 畜産振興課
評価対象期間	R4.4.1 ~ R5.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県東濃牧場
	所在地	恵那市長島町鍋山4-66
指定管理者	名 称	一般社団法人 岐阜県農畜産公社
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市藪田南5-14-12
	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧場の維持管理に関すること ・ 牧場の使用の承認に関すること ・ 乳用牛及び肉用牛の飼養管理に関すること ・ 利用者への便宜の供与に関すること ・ 利用の促進に関すること 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用頭数 (単位:頭)
R2	429
R3	821
R4	895

3 令和4年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	479,859
利用料金	0
指定管理料	19,436
そ の 他	460,423
支 出 計	543,035
人 件 費	110,583
施設管理費	405,729
そ の 他	26,723
差 引	▲ 63,176
納 付 金	1,747

※指定管理者が同一のため、岐阜県飛騨牧場分と合算計上

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・飼料高騰は初妊牛の譲渡価格に反映されるか。	・平成30年度の値上げ以来、初妊牛譲渡価格は据え置いてきたが、令和5年度から値上げする。
・放牧預託、牧場への育成素牛売却希望は増えたか。	放牧預託は増加傾向。ここ数年、牧場への育成素牛売却希望も多い。フリー牛(育成終了後、譲渡希望がない牛)が増え、あっせん対応に尽力した。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・牧場職員及びまきば館職員の対応は利用者から高評価。引き続き、丁寧な牛の飼養管理、接客等に努められたい。 ・利用者からの意見、要望に今後とも適切に対応してほしい。
設置目的の充足状況	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・まきば館の利用者数の推移については、回復しているもののコロナ前と比較するとまだ少ない。 ・牧場だよりを定期的に発行しており、利用者からの評判も良い。
公共性の確保の状況	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃牧場の初妊牛あっせんについて、普段牧場を利用していない酪農家でも譲渡希望があれば申し込みやすくなるように、あっせんルールを周知してほしい。
経営状況	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・自給飼料の増産を引き続きお願いしたい。 ・飼料高騰が続き、収支が大変苦しい時だと思うが、アイデアを出して乗り切してほしい。 ・収支増加に向けて、堆肥販売に力を入れてはどうか。
派生的効果	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・県内生乳生産量が不足するため、県内酪農家には東濃牧場を活用して乳牛を増やしてほしい。酪農家の経営が苦しい中で東濃牧場の初妊牛譲渡価格が値上げされたことで、育成素牛売却元の農家は自分の牛を引き取るうにも引き取れず、北海道から買うこともある。

<評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
S	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年と比較して自給飼料を増産し、飼料費節減に努めた。 ・経営改善のため、これまで数年間据え置いてきた初妊牛譲渡価格を値上げした。 ・利用者からの東濃牧場の管理運営、存在意義の評価が高く、初妊牛が普段牧場を利用しない方にもいきわたるよう、事業の内容を周知し、酪農経営の合理化を図ろうとしている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する